

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 8月 8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 2 0 4 2 6 8
法人名	株式会社 サルート
事業所名	グループホーム とまと
所在地	広島市安佐南区高取南1丁目11-43 (電 話) 082 - 847 - 0304
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年7月25日

## 【情報提供票より】(20年 4月 25日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成) 15 年 8 月 1 日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	22 人 常勤 15 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 18.8

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り 2階建 2階建ての 1階 ~ 2階部分
------	------------------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有( 200,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500 円		

## (4) 利用者の概要( 4月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	4 名	要介護2	9 名		
要介護3	5 名	要介護4	6 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	松本内科胃腸科医院、児玉病院 出島歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームとまとは、少し小高い住宅街にあり、景観もよく、3ユニットのホームである。又、隣接した通所介護事業所との連携もあり、のんびりゆったりとした時間が流れている。地元との交流も盛んで町内行事に参加したり、とまと祭りに来所してもらったりと地域に溶け込んでいる。GPSを持参されている入居者もおられ、入居者本位に考えられている。又、地域福祉活動にも積極的に参画して地域にとってもなくてはならない存在といえる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年、大きな指摘はなかったが、事業所内で各種委員会(9つの委員会)で取り組み、特に技能委員会において職員の技能履歴を踏まえて、向上できるように処している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員のスキルアップに取り組まれている。又、外出支援にも積極的に取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回、開催されている。行事予定や報告、又、事故報告もなされ、信頼関係を構築されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者の家族アンケートにも見られるように、その時々状況や要望にあわせて柔軟な対応をされ、満足しておられる。開設されているホームページで、家族が国内外から様子を見る事ができるシステムがある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	認知症アドバイザーとして、職員が地域でオレンジリングの活動を活発に展開している。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念は、奉仕、地域貢献、職場活性化を掲げている。		さらにユニット毎に掲げている。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットでの取り組み事項を決めている。例えば入居者の生きがい、やりがいを見つけ活気ある生活にしよう。気候が良い時は散歩に出かけたり楽しく過ごして頂けるようにする、等々。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事に参加している。夏祭りには町内の人に来てもらった。とんど祭りには入居者の方も参加した。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の意識レベル向上のため年1回は研修に行っている。(費用は会社持ち)		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、開催している。入居者、家族、町内会副会長、包括支援センター職員、社長、施設長、管理者が参加して開催して報告、意見交換をしている。		

グループホーム とまと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや安佐南区役所の介護保険担当に広報紙を持参して報告している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月「とまとばたけ」を広報委員が作成して家族に送付し、個人毎の写真集もあり、喜ばれている。		ホームページを持っており、家族との連携に役立っている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会(年3～5回)や面会時に話を聞くようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、極力少なくするように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	技能委員会で取り組み職員研修履歴をまとめて向上に向けている。		9つの委員会のどれかに所属し(菜園、レク、苦情、環境等)自主性、意識向上に努めている。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に5～6回、グループホーム、事業者交流会にて交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居のサービスもあり、馴染んでもらうように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者様は自分たちより長く生きてこられた大先輩なので、尊敬し敬う気持ちを持って対応するように心がけている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>全体ミーティングを月2回、ユニットミーティングも月2回行い、全員が一体となって見ている。(担当制ではない)</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月1回以上カンファレンスを行い、ケアプランに反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>通常3ヶ月に1回見直しをして、家族にきちんと説明している。</p>		

グループホーム とまと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	居宅介護支援事業所、デイサービス事業所と連携がある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医療機関の主治医による往診が週1回ある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療が必要になった場合等は家族と話し合い入院してもらおう。		今後、ターミナルケアを検討されることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	相手に合わせた接し方、対応に心がけている。個人情報事務所に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームが自室となるように努力しておられる。日帰りで墓参り等の支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しめるように、ソーメン流しや手作り食事会をして工夫している。月1回、外食にも出かけている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほとんど毎日入れる。又、同一法人内の施設の風呂を利用したり近隣の入浴施設に出かけることもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	午前中にレクリエーション(歌、絵手紙、書道、フラワーアレンジメント等)をしたりして楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に一度は外食したり、買物に出かけたり一人で出かける人にGPSを持参してもらって、戸外に出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットの出入口は、オートロックになっていて、家族には理解してもらっている。		昼間は戸を開けるとブザーが鳴るように工夫して、開けられることを期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回非難訓練を実施している。		町内会と防災協定書を作成して協力を得るよう望みます。

グループホーム とまと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェック、食事摂取量や水分量を日々記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共用空間があり、応接セット等が置かれゆったり過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にテレビ、ビデオ、カラオケセットを置かれている方もおられ、楽しんでおられる。		